

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課			農林係		No	1
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	12	魅力と活力ある産業の振興		3	農業の振興		1	農業の担い手の育成				
事業名	農業総務事業											
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費			
	細目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費	会計種別	一般会計				
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()				予算種別		継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
宇部市、山陽小野田市とJAで構成された協議会であり、改良普及事業を行うほか、各種農業グループの育成を行う。 農林振興公社には県内の全市町が会費を納めており、農山漁村の振興に向けて事業を展開している。		協議会や公社が各種事業を行うことで、農業経営の近代化を促進し、農家の社会的経済的地位の向上を図る。		負担金を交付し、各団体が行う事業の支援をする。活性化研究会事業外8事業	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度(B/A)
対象事業数		対象事業数			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100 %
9種類	9種類	9種類	9種類		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	農業改良普及負担金	258	258,000	財源割内合訳	国庫支出金 ()		
	農林振興公社負担金	131	131,000		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	389	389,000
合 計		389	389,000	合 計		389	389,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	942,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課			農林係		No	2
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興				3	農業の振興			1	農業の担い手の育成	
事業名	米需給調整総合対策事業											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	1	米需給調整総合対策費	
	細目	001	米需給調整総合対策費		細々目	01	米需給調整総合対策費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務()					予算種別		継続		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
営農計画書の作成、配布、回収、農家確認、生産目標数量の設定、配分基準収量の設定、農家の作付け面積、生産目標数量の調整確認を行う。 (戸別所得補償モデル対策事業)		水稻生産農家の数量調整に関する事務を円滑に実施することにより、需要に応じた米の計画的生産需給と価格の安定化を図る。		営農計画書の作成、配布、回収、農家確認、生産目標数量の設定、配分基準収量の設定、農家の作付け面積、生産目標数量の調整確認を行う。	
活動指標		成果指標			
会議開催回数		戸別所得補償モデル対策加入者			成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		88.5
8	8	1,000	885		
					%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	人件費等	1,417	1,417,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()	1,417	1,417,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()		
合 計		1,417	1,417,000	合 計		1,417	1,417,000
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名				農林水産課				農林係		No	3	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興			3	農業の振興			1	農業の担い手の育成		
事業名	野菜安定価格事業負担金											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	2	農業総務費	
	細目	1	農業総務費		細々目	1	農業総務一般管理費		会計種別	一般会計		
事務区分(根拠法令)			自治事務					()		予算種別	継続	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
特定野菜の価格が著しく低下した場合に、経営に及ぼす影響を緩和する。		特定野菜生産農家の経営安定及び産地作りの促進 対象野菜：玉ねぎ、ブロッコリー 価格の変動に左右されることのない安心感により野菜生産者の増加に繋がる。		価格低落時の生産者への損失補てんのための負担金。	
活動指標			成果指標		
市負担金(千円)			対象野菜作付面積(ha)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
50		0		—	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		9.4	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	50	0	財(源割内訳)	国庫支出金()		
					県支出金()		
					地方債()		
					その他()		
					一般財源()	50	0
合 計		50	0	合 計		50	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0	0

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
対象野菜の種類拡大とともに野菜のブランド化を図る必要あり。	県・JA等関係機関と協議する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	4		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	農業施設整備事業補助金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費
	細目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平成9年～平成15年にかけて山陽地区においてJAが整備したライスセンター等事業資金に対する元金、利子に係る補助。		整備された農業用施設により地域の農業振興や地場産農産物を利用した特産品の開発に取り組む。		平成9年～平成15年にかけて山陽地区においてJAが整備したライスセンター等事業資金に対する元金、利子に係る補助。	
活動指標		成果指標			
補助金額(千円)		事業償還金累積額(千円)			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	成果指標の到達度(B/A)	
9,896	9,896	148,448	107,949	73	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助金等	9,896	9,895,378	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	9,896	9,895,378
合 計		9,896	9,895,378	合 計		9,896	9,895,378
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,256,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
なし		なし	
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		
その他			

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課		農林係		No	5	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)				小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興			3	農業の振興			1	農業の担い手の育成		
事業名	農業管理センター運営補助											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費	
	細目	1	農業振興事業費		細々目	1	農業振興事業費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務()					予算種別		継続		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
農業管理センターは、直接農業者の窓口となるだけでなく、市・農業委員会・県・国・JA等の関係機関が定期的に担い手育成等についても協議している		関係機関・団体が定期的に協議をおこなう場（農業管理センター）があることで、本市の農業の現状や今後の方向性について情報共有できる		JA小野田地区と山陽地区の2箇所に設置された農業管理センターの運営費の一部（人件費）を助成			
活動指標		成果指標					
会議開催回数		情報共有回数					
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
24		24		24		24	
						</	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助金等	992	992,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	992	992,000
合 計		992	992,000	合 計		992	992,000
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	6		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	経営基盤強化資金利子補給事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
経営拡大その他経営発展を図るのに必要な農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対し利子助成を行う。 (スーパーL資金)		事業対象者：花の海、グリーンハウス		経営拡大その他経営発展を図るのに必要な農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対し利子助成を行う。	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度(B/A)
関係団体との情報確認回数		新規申請者数			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	0 %	
12	12	1	0		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助金等	2,446	2,445,207	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()	1,194	1,222,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	1,252	1,223,207
合 計		2,446	2,445,207	合 計		2,446	2,445,207
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
なし		なし	
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		

その他	県とともに実施している事業である。
-----	-------------------

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課		農林係		No	7
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興		3	農業の振興		1	農業の担い手の育成			
事業名	農業近代化資金利子補給金										
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費		細々目	1	農業振興事業費		会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務()					予算種別		継続	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
農林業者に対する農業近代化資金の融通を円滑にする措置。		農業者に対し農業協同組合等の融資機関が行う農業施設資金等の融資を円滑に行うため、県と市が当該融資機関に対して利子補給措置を講じ、農業経営の近代化を図る。		融資機関に利子補給をおこなう。			
活動指標		成果指標					
関係団体との情報確認回数		利子補給を受けている人数(延人数)					
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
12	12	1	0				

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助金等	33	32,654	財(源割内訳)	国庫支出金()		
					県支出金()	16	16,000
					地方債()		
					その他()		
					一般財源()	17	16,654
合 計		33	32,654	合 計		33	32,654
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
なし		なし	
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		
その他	県とともに実施している事業である。		

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	8
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成	
事業名	地域担い手育成総合支援協議会運営事業						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市、県、関係機関等が協議会を組織し、担い手の経営基盤の確立・強化、耕作放棄地の解消等に向けた支援を行う。	①農地利用集積円滑化事業 ②耕作放棄地再生事業 ③担い手育成支援事業 ④新規就農定着交付金事業 等	①農地の面的集積・連坦化により経営規模を拡大する農業者に対する補助 ②耕作放棄地の再生に対する補助	
活動指標		成果指標	
事業実施数		認定農業者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
3件	3件	48	47
98 %			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他		
					一般財源 ()		
合 計		0	0	合 計		0	0

人 件 費 概 算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.25	1,570,000

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
・新規就農の推進等を図るための独自の活動費がない。	市からの補助金交付。

事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	・本事業は国の施策として農政事務所、県、市が協力して実施するものである。 ・予算計上なし
-----	---

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	9
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
施策体系	12 魅力と活力ある産業の振興	3 農業の振興	1 農業の担い手の育成				
事業名	農業振興地域整備計画事業						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農林水産大臣が定める「農用地等の確保等に関する基本方針」を基に県は「農業振興地域整備基本方針」を策定、市は「農業振興地域整備計画」を策定する。計画策定年度：平成22年度		対象：①農業振興地域内農用地区域 ②土地所有者や土地開発等業者 農業振興を図っていく地域を農用地区域として設定し、優良農地の確保・保全に努める。社会情勢の変化による農地の開発需要に対し、営農環境の保全に留意した適正な土地利用へ誘導する。		農業振興地域整備計画における農用地利用計画の農用地区域から農用地等以外の用途に供することを目的として提出された除外申し出等により、農用地区域の計画的利用のため農業振興地域整備計画の変更を行う。	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
経済事情の変動その他情勢の推移を勘案しながら、農業振興地域整備計画を随時見直していく。		農業振興地域及び農用地区域の設定を行いながら、農業における効率的な土地利用と農業振興に寄与する。			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		
変更回数 3回	変更回数 3回	農用地区域 1,085ha	農用地区域 1,085ha	% 	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合 計		0	0	合 計		0	0
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,256,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
除外要件や農業委員会等の意見、都市計画法その他の定めのある要件を満たす必要性があり、的確な適否判断を要する。		除外申出前の相談に伴う現地確認や県との連絡調整を密にする。	
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		
その他	・予算計上なし		

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	10
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成	
事業名	利用権設定等促進事業						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 (農業経営基盤強化促進法)			予算種別	継続	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農業者の高齢化や兼業化、また後継者がいないなどの理由により、農作業や農地の管理を任せたいという農地所有者と、農地を借りて経営規模を拡大したいという希望を持つ農業者との間に市が入り、農業経営基盤強化促進法に基づき農地の貸し借り等を農地法によらずに行う。		農地の貸し借り等について農用地利用集積計画を定め、農地の流動化を図る。		農用地利用集積計画の策定、公告を行う。	
活動指標		成果指標			
農用地利用集積計画数(筆数)		利用権設定面積			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	成果指標の到達度(B/A)	
—	362	—	70.3		
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	印刷製本費	28	27,300	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	28
合 計		28	27,300	合 計		28	2,730

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.25	1,570,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農業委員会事務局					No	1
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興			3	農業の振興			1	農業の担い手の育成		
事業名	農業委員会運営											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	1	農業委員会費	
	細目	1	農業委員会事務局費		細々目				会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			法定受託事務(農業委員会等に関する法律)				予算種別		継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農業委員会は、優良農地の確保及びその有効利用、担い手の育成などが期待され、農地と担い手を守り、力強い農業を推進していくことが必要である。平成21年農地法の改正により、農業委員会の適正な事務の執行、優良農地の確保に努めなければならない。		農業委員を対象に、総会等の法令業務を行う。また、農業関係者を対象に農地や担い手確保に努める。		月一度の現地調査と総会の開催を行う。委員は農地の移動、転用に伴う現地確認や、実地調査を実施する。また、農業者年金加入の業務や農地相談も行う。	
活動指標		成果指標			
総会開催回数		農地法3, 4, 5条の規定による許可件数			成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		
12回	12回		78件		%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委員報酬	8,217	8,216,100
	旅費(費用弁償)	48	48,000
	需用費	222	221,111
	委託料	6,699	6,699,000
	その他	385	366,460
合 計		15,571	15,550,671

歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
財(割内訳)	国庫支出金	()	9,091	9,091,000
	県支出金	()		
	地方債	()		
	その他	()		
	一般財源	()	6,480	6,459,671
合 計		15,571	15,550,671	

人 件 費 概 算	人工数(人役)	人件費(円)
	2.5	11,561,520

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
農業者年金の普及促進は時間を要する。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	成果指標は申請、許可数であることから、目標値は定めるべきではない。
-----	-----------------------------------

平成22年度 事務事業評価シート

部署名				農業委員会事務局				No	2
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興		3	農業の振興		1	農業の担い手の育成	
事業名	農業委員会だより発行事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費
	細目	1	農業委員会事務局費	細々目			会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務			(	)	予算種別	継続

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農産物の価格低迷や、後継者不足など農業経営は大変厳しいものになっている。こうした中、農家や、農業経営者への情報提供が強く求められており、年1回農業委員会だよりを発行することにより、農業に関する必要な情報を提供している。		農家および農業関係者を対象に農業委員会の事業を把握してもらい、農地行政の周知を図っている。		農政部会で作成。また、市内特農家の紹介も行う。農家全世帯配付	
活動指標			成果指標		
発行部数 2,000部			地域に密着した取材、農家紹介		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
2,000部		2,000部		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	137	136,500	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	137
合 計		137	136,500	合 計		137	136,500

人 件 費 概 算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.2	1,012,560

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
農業委員の記事、紙面が多い。	取材を行い。農家の直接の声を掲載する。

事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名				農業委員会事務局				No	3
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興		3	農業の振興		1	農業の担い手の育成	
事業名	農業に関する調査事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費
	細目	1	農業委員会事務局費	細々目			会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)			法定受託事務(農地法)				予算種別	継続	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
国内の食糧自給率の向上や、食料の安定供給を図るため、生産基盤である農地について、その確保と有効利用を図ることが必要とされている。平成21年農地法の改正により、新たに農地に関する利用調査を担うこととなった。	市内全農地の利用状況調査を行い、遊休農地等を掌握する。	現地調査員において、利用状況を掌握し、平成22年度に導入した農家基本台帳システムに登録する。また図面を作成し、再生可能農地等を区分化する。	
活動指標		成果指標	
調査筆数		基本台帳登録筆数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
21,000筆	21,000筆	21,000筆	19,632筆
			93%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	賃金	1,910	1,909,045	財源割内訳	国庫支出金	()	3,075
	共済費	356	355,214		県支出金	()	
	需用費	174	173,241		地方債	()	
	借上料	693	693,000		その他	()	
					一般財源	()	58
合 計		3,133	3,130,500	合 計		3,133	3,130,500

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	2.1	3,937,280

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
現地調査は天候に左右されやすく、冬場の調査は予定が立たない。	調査準備の期間を設け効率よく調査する。台帳整理臨時職員の早期雇用
事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課		耕地係		No	1	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	12	魅力と活力ある産業の振興			3	農業の振興		2	農業の基盤の整備			
事業名	土地改良区等事業推進費補助											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	5	農地総務費	
	細目	1	農地総務費		細々目	1	農地総務費		会計種別		一般会計	
事務区分（根拠法令）			自治事務（				予算種別		継続		経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
土地改良区等が維持管理している排水機場等の土地改良施設の適正な運転のための維持管理費の助成、事業償還金の補助を行う。		土地改良施設（排水機場等）の維持管理について、地元で行ってもらうことで効率化を図る。		土地改良施設（排水機場等）の維持管理に係る経費について、土地改良区等からの申請により、補助金を交付する。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
基幹水利施設数			排水流域面積		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %	
6(施設)	6(施設)	5,036(ha)	5,036(ha)		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	97,228	97,228,000
合 計		97,228	97,228,000

歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
財源(割合内訳)	国庫支出金 ()		
	県支出金 ()		
	地方債 ()		
	その他 ()		
	一般財源 100	97,228	97,228,000
合 計		97,228	97,228,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.2	1,256,000

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
市内の主要な排水手段である排水機場ポンプの老朽化が進み、管理者の負担が大きくなっている。	市にとって欠かせない重要な施設なので、国、県の事業を活用し、大規模な改修、更新を計画的に行う。

事業の方向性（一次評価）	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課			耕地係		No	2	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興				3	農業の振興			2	農業の基盤の整備		
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業 負担金												
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	5	農地総務費		
	細目	1	農地総務費		細々目	1	農地総務費		会計種別		一般会計		
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()					予算種別		継続		経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
土地改良事業等で整備した農業用施設が耐用年数を経過するなど老朽化が進み、維持管理労力が大きい施設について計画的に改修整備を行う。		維持管理の省力化、老朽化施設の計画的な改修により、営農の効率化を図る。		事業費を国30%、県30%、地元40%の負担割合とし、市の負担分について5年に分けて積立を行う。工事実施年度において、積み立てた事業費が交付される。	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度(B/A)
対象施設数		積立額			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		60 %
1(箇所)	1(箇所)	1,650(千円)	990(千円)		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	347	345,700	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 100	347	345,700
合 計		347	345,700	合 計		347	345,700
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	942,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
特になし			
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		
その他			

平成22年度 事務事業評価シート

部署名				農林水産課				耕地係		No	3	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興			3	農業の振興			2	農業の基盤の整備		
事業名	小規模土地改良事業											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	5	農地総務費	
	細目	1	農地総務費		細々目	1	農地総務費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務				()		予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
地元管理の土地改良施設で単県事業等の要件に合わない事業について、市の単独事業として地元からの要請により事業を行う。毎年要望が上がり、緊急性等を考慮し、事業を実施する。		土地改良施設の簡易な補修整備等、国や県の補助事業の要件を満たさない事業を実施することで、農業施設等の整備を行う。		地元からの事業要望により事業を実施する。毎年予算の範囲内で優先順位を決めて事業を行う。 事業については地元で実施し、市は施設ごとに定められた補助率で補助金を交付する。	
活動指標		成果指標			
年間補助(整備)件数		整備施設の受益面積			
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
15(件)		11(件)		410.6	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
50(ha)		205.3(ha)		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	6,622	6,622,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	100	6,622
合 計		6,622	6,622,000	合 計		6,622	6,622,000
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
毎年新規の申請が15件程度あり、次年度に繰り越さないためにも15件程度の補助を実施したいが、予算の制約もあり、実施できない状態が続いている。		現在、事業実施まで3年待ちの状態であるが、事情を説明し、理解をいただいている。	
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		
その他			

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課			耕地係		No	4	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興				3	農業の振興			2	農業の基盤の整備		
事業名	単市土地改良事業												
予算費目	款	6	農林水産業費			項	1	農業費		目	6	土地改良事業費	
	細目	1	土地改良事業費			細々目	1	土地改良事業費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()						予算種別		継続		経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市管理土地改良施設（排水機場等）で、単県事業等の要件に合わない事業について、市の単独事業として地元からの要請により事業を行う。毎年要望が上がり、緊急性等を考慮し、事業を実施する。		市管理土地改良施設で簡易な補修整備等、国や県の補助事業の要件を満たさない事業を実施することで農業施設等の整備を行う。		市管理土地改良施設で、地元からの要請により事業を実施する。毎年予算の範囲内で優先順位を決めて事業を行う。	
活動指標		成果指標			
工事請負金額		整備施設数			成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%	
3,660(千円)	3,649(千円)	5(施設)	5(施設)		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	400	74,550	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	840	735,000		県支出金 ()		
	工事請負費	3,660	3,648,750		地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 100	4,900	4,458,300
合 計		4,900	4,458,300	合 計		4,900	4,458,300
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
排水機場等の施設が老朽化しており、補修・整備を要する箇所が多く、単市土地改良事業では対応できない状況である。	国や県の補助事業を活用し、排水機場等の施設の整備・更新を計画的に実施していく。

事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名				農林水産課				耕地係		No	5
大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
施策体系	12	魅力と活力ある産業の振興		3	農業の振興		2	農業の基盤の整備			
事業名	県営土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)										
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	6	土地改良事業費
	細目	1	土地改良事業費		細々目	10	県営経営体育成基盤整備事業		会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務				()		予算種別	継続	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
後潟地区では、平成3～10年度で南側の37haの区画整理を実施、残りの27haが未整備となっている。地元からの要望が強く、合意形成も整うことから、残りの区画整理を実施する。		農作業の効率化、農地の集団化による経営体の育成。		県営事業によりほ場整備事業を行う。	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度(B/A)
対象農地		進捗率(事業実施年度H22～H30)			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100%
27(ha)	27(ha)	0.7(%)	0.7(%)		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	3,150	3,150,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	50	1,575
	負担金、補助及び交付金	158	158,000		県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	50	1,733
合 計		3,308	3,308,000	合 計		3,308	3,308,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	942,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
事業開始年度であるため、推進委員以外のほ場整備事業の理解度が低い。	山口県と協働し、説明会を実施することで、理解度を向上させ、意識付けができた。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課				農林係			No	1	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)						
	12	魅力と活力ある産業の振興				3	農業の振興				3	地産池消の推進			
事業名	農林水産まつり補助金														
予算費目	款	6	農林水産業費			項	1	農業費			目	3	農業振興費		
	細目	1	農業振興事業費			細々目	1	農業振興事業費			会計種別		一般会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務()						予算種別		継続					

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順		
農業・林業・水産業の第1次産業が参加するイベントである。安全安心な農作物が求められる中、地元農水産物を知ってもらい、地産地消を推進するための絶好の機会である		市民に対し、地場産農水産物や加工品のPRに効果があるとともに、農作物の品評会の開催により農業者の生産意欲の向上や技術の向上を図る		農林水産まつり実行委員会への補助金		
活動指標		成果指標				成果指標の到達度(B/A)
まつりの開催		来場者数				
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		110 %	
1回	1回	5,000人	5,500人			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	150	150,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	150	150,000
合 計		150	150,000	合 計		150	150,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,256,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
平成17年度から補助金が減額となり、イベントの規模をいじることが難しくなっている。	1区画3,000円のテナント料をもらうようにする。

事業の方向性(一次評価)	

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課			農林係		No	2	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興				3	農業の振興			3	地産地消の推進		
事業名	地産地消推進補助金												
予算費目	款	6	農林水産業費			項	1	農業費		目	3	農業振興費	
	細目	1	農業振興事業費			細々目	1	農業振興事業費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務(農業振興事業等補助金交付要綱)					予算種別		継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
旬菜惑星推進協議会は、生産者、流通、加工関係者、消費者等が連携した地産地消の推進や、流通販売の活性化を通じた地域農産物の生産・需要拡大を図るために設置された組織。JA、県、市場、企業がこれを推進している。		生産者、流通、加工業者、消費者が連携した「地産地消」の推進や、流通販売の活性化を通じた地域農産物の生産・需要拡大を図るため、地産地消関連イベント等を行う。 ・旬菜フェスタ（6月、11月） ・農工商連携による地産地消イベント ・JA本店ジャム試食販売 ・サンセットフェスタ ・山陽小野田市農林水産まつり ・厚狭殖生農業まつり		旬菜惑星推進協議会への補助金交付。 JA山口宇部山陽営農総合センターに事務局を置き、年一回の総会を開催し事業計画を立てる。 各種イベントの開催や予算執行についてはJA、市、県等の担当者で随時協議を行っている。	
活動指標		成果指標			
自主イベントの開催や、地域イベントへの参加		山陽地区露地野菜生産面積			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	成果指標の到達度(B/A)	
5回	7回	560a	932a	166	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	地産地消補助金	300	300,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	300	300,000
合 計		300	300,000	合 計		300	300,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	942,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
農業従事者の高齢化、農業経営環境の厳しさから農業者は減少しており、生産量の減少が続いている。 米の生産調整が進むなか、水稲以外の生産にシフトしていく必要があり、逆にそれをチャンスと捉え、新たな特産品の生産に取り組むような支援が必要である。	JA山口宇部のブランドである「阿知須くりまさる」を山陽地区でも生産することにより、地域農業の活性化を図ってきた。 そのノウハウを活かし、次年度からは「冬至かぼちゃ」にチャレンジしたい。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	3
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	3	地産池消の推進	
事業名	ふるさとの食推進事業ネットワーク事業						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内小中学校の学校給食における市内産食材の利用向上推進と、安全安心な食材の提供を図るために平成22年4月発足した。		市内小中学校の学校給食における市内産食材の利用向上推進と、安全安心な食材の提供を図る。 品目：じゃがいも、玉ねぎ、にんじん		市・教育委員会・JA・生産者・中央青果で構成された組織	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
会議開催の数		市内産生産目標量			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	56	
1回	1回	16トン	9トン	% %	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合 計		0	0	合 計		0	0

人 件 費 概 算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.2	1256000

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課 題		改 善 策	
- 野菜づくりは手間がかかるため、米作から転向する農家は少ない。 - 生産時期が限られるため、安定供給には貯蔵施設等が必要とされる。		- 教育委員会と連携を図り、生産者へPRをしていく。 - 営農組織等農業団体をより活用していく。 - 貯蔵施設費等必要な費用を予算化していく。	
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)			
A	計画どおり事業を進めることが適当		
その他	予算計上なし		

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート					部署名		農林水産課			農林係			No	1
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)					
	12	魅力と活力ある産業の振興			3	農業の振興			4	環境と調和した農業の推進				
事業名	市民農園管理運営事業													
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費			目	3	農業振興費		
	細目	12	市民農園管理運営費		細々目	1	市民農園管理運営費			会計種別		一般会計		
事務区分(根拠法令)			自治事務()					予算種別		継続				

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
旧小野田地域の烏帽子岩と高栄町の市民農園はほぼ全区画利用であるが、旧山陽地域の杓山田市民農園は空きがある状態		非農家の一般市民が農業体験を通じて収穫の喜びを味わうことができ、農業に関する理解を深めることができる。また遊休農地の活用の1つの方策でもある		市内に3地区の市民農園がある。毎年契約締結し、利用料を納めてもらう。 市内3ヶ所(計115区画) ○烏帽子岩地区44区画(1区画25㎡) ○高栄地区45区画(1区画30㎡) ○杓山田地区26区画(1区画26㎡) 使用料3,000円/区画・年	
活動指標		成果指標			成果指標 の到達度 (A/B)
市民農園の利用者数(人)		市民農園の利用率(%)			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		90 %
115	103	100	90		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	97	96,618	財(源割内合訳)	国庫支出金()		
	委託料	120	120,000		県支出金()		
	使用料及び賃借料	54	54,000		地方債()		
					その他(100)	271	270,618
					一般財源()		
合計		271	270,618	合計		271	270,618
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策
・市民農園内の備品の盗難 ・ゴミの空き区画への廃棄 ・隣接する利用者との境界をめぐるトラブル		定期的な見回りや啓発等を行う。盗難について被害が深刻の場合には警察への被害届の提出を行う。
事業の方向性(一次評価)		
A	計画どおり事業を進めることが適当	
その他		

平成22年度 事務事業評価シート

平成22年度 事務事業評価シート				部署名		農林水産課			農林係		No	1
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興				3	農業の振興			5	畜産業の振興	
事業名	畜産振興事業(家畜保健衛生推進協議会補助金、家畜診療体制運営費負担金ほか)											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費	
	細目	6	畜産振興事業		細々目	1	畜産振興事業		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()					予算種別		継続		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
家畜の伝染病予防や家畜診療業務、死亡牛の適正処理、受胎率の向上など専門的な知識が必要となる分野について、市独自で行うことが困難となる業務等を専門機関と協力することによって適切な畜産振興を図る。		家畜の防疫、衛生、治療業務の推進を図り、家畜の疫病による損消を防止し、畜産経営安定と地域畜産振興を図る。 対象：市内畜産農家6軒		中部家畜保健衛生推進協議会への家畜保健衛生・防疫推進業務補助金及び中部家畜診療所運営協議会への運営負担金等を支払う。 構成員：中部家畜保健衛生推進協議会・・山口市、防府市、宇部市、美祢市、本市 中部家畜診療所運営協議会・・山口市、防府市、宇部市、本市、県、各農協関係機関	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度(B/A)
家畜診療体制運営費負担金		分娩頭数(市内畜産農家所有の肉用牛)			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		
1,104,000円	1,104,000円	—	38		
					%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	家畜保健衛生推進協議会負担金	55	55,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	家畜診療体制運営費負担金	1,104	1,104,000		県支出金	()	
	酪農振興補助金	112	112,000		地方債	()	
	山口県畜産振興協会負担金	27	27,000		その他	()	102
					一般財源	()	1,195
合 計		1,298	1,298,000	合 計		1,297	1,298,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
家畜伝染病の発生時の対応	中部家畜保健衛生所等関係機関との密な情報交換、連携を図る。
事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		企画課		企画係		No	1
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	6	中山間地域の活性化	
事業名	中山間地域づくり推進事業						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
中山間地域の過疎化、少子高齢化の進行などに伴い、耕作放棄地や荒廃森林の増加などが進んでいる。 中山間地域の活性化を図るため、地域資源を活かした、活力と魅力ある持続可能な地域づくりが必要とされている。		中山間地域で培われてきた地域資源を積極的に活用し、活力と魅力ある中山間地域づくりを進める。		・中山間地域との情報交換 中山間直接支払制度が入っている6地域(奥ノ谷、平沼田、宗末、鑄物師屋、松岳畑、靱の木)の現状把握を行う ・県事業の活用 ・県との連携	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
中山間地域(地区)との話し合い		中山間地域の活性化につなげた事業数			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	0	
5(地区)	3(地区)	1(事業)	0(事業)	%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合 計		0	0	合 計		0	0

人 件 費 概 算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.1	628,000

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課 題	改 善 策
・地域の課題の解消に有効な手立てが見いだせず苦慮している。	・組織の横断的な取り組みにより、課題解決に努める。

事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要

その他	・ゼロ予算事業
-----	---------

平成22年度 事務事業評価シート

部署名				農林水産課				農林係		No	1	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興			3	農業の振興			6	中山間地域の活性化		
事業名	中山間地域等直接支払推進事業											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費	
	細目	11	中山間地域等直接支払推進事業		細々目	1	中山間地域等直接支払推進事業		会計種別	一般会計		
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()					予算種別	継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
中山間地域は流域の上流部に位置し、農地を保つことにより洪水の防止や下流域の水源の確保等住民の生活基盤を守る重要な役割を担っている。しかし、条件が不利な故、耕作放棄地が増加しその役割が果たせなくなりつつある。 そのような中、これら中山間地域の有する機能を維持するため、H12年度から国・県・市が共同で支援行っている。現在、第3期対策の1年目である。		条件不利地である中山間地域の農業生産活動を維持し、多面的機能を確保するため、国が定める要件を満たす地域に直接支払を実施している。 本市においては、現在6集落が山口県知事が定める特認地域に指定されており、本市と協定を結び事業に取り組んでいる。		各集落が取り組む事項について定めた協定書を作成し、市に申請する。 市が適当と判断した集落協定には国・県・市がそれぞれ決められた割合の交付金をその集落に交付する。	
活動指標			成果指標		
集落協定数			協定面積		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
6		6		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
18ha		18ha		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助金等	3,779	3,778,862	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()	1,259	1,259,620
					県支出金 ()	1,259	1,259,620
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	1,261	1,259,622
合 計		3,779	3,778,862	合 計		3,779	3,778,862

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.2	1,256,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
協定農用地の適切な管理。	定期的な見回り。ほ場の状況によっては適時指導を行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--